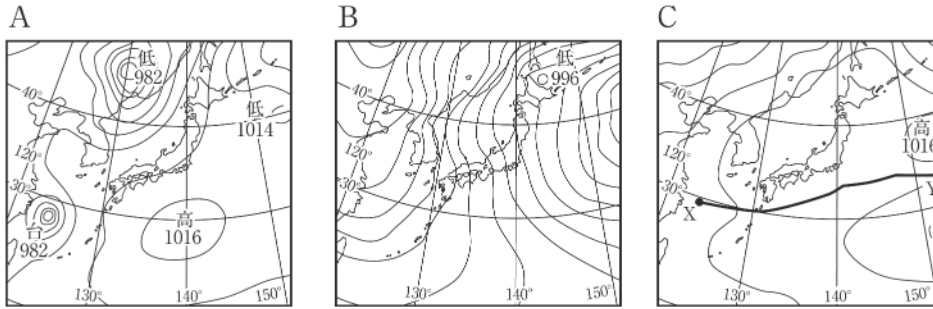


日本の天気の特徴

日本の四季 B

🕒 10分

1. 図の A ~ C は、季節によって見られる典型的な天気図で、C の前線 XY は、2つの気団の勢力が釣り合ってほとんど動かない前線である。次の問いに答えなさい。



(1) A ~ C の天気図は春、梅雨、夏、冬どの季節のものか。

A	[1]	B	[2]	C	[3]
---	-----	---	-----	---	-----

(2) A の天気図の季節に発達している気団を何というか。

[4]

(3) A の天気図のときにふく季節風は、どの方角からふくか。

[5]

(4) 次の文は、B の天気図の季節にふく季節風について述べたものである。{ } にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

この季節になると、地表が冷え、ユーラシア大陸に高気圧が発達する。海水は、大陸をつくる岩石に比べて① {ア あたたまりやすく冷めやすい イ あたたまりにくく冷めにくい} 性質があるため、太平洋の海面は、ユーラシア大陸の地表に比べて② {ア より高温 イ より低温} で低気圧が発生しやすい。このとき西高東低の気圧配置となり、日本列島には③ {ア 北西 イ 南東} の強い季節風がふく。

①	[6]	②	[7]	③	[8]
---	-----	---	-----	---	-----

次ページにつづく ▶▶▶

- (5) Bの天気図のような気圧配置になると、日本海側と太平洋側の天気は、それぞれどのようなになるか。簡単に書きなさい。

日本海側	[9]
太平洋側	[10]

- (6) Cの天気図の前線XYを表す天気図の記号を書きなさい。

[11]

- (7) 前線XYの北側にある気団と南側にある気団の特徴を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

- ア あたたかくて湿っている。 イ あたたかくて乾いている。
 ウ 冷たくて湿っている。 エ 冷たくて乾いている。

北側	[12]
南側	[13]